

1 本年度の重点教育目標

笑顔で学ぶ本通の子

2 本年度の取組の重点

- (1) 学習指導要領の趣旨を具現化する特色ある教育課程の編成・実施
- (2) GIGAスクール構想による教育の質の向上
- (3) すべての子どもの学力保障
- (4) 地域とともにある学校づくり

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価結果		学校関係者評価		
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善の方策の評価	主な意見（改善策など）
(1)学習指導要領の趣旨を具現化する特色ある教育課程の編成・実施	学習指導要領に基づくとともに本校の特色ある教育課程の編成・実施	b	育成したい資質・能力（R4：「表現力」の育成）を明確にした上で、教科等横断的な視点から教育課程を見直したり、時数配当の重点化を図ったりする。	A5 B2	A6 B1	・大変重要なことです。でも難しいことです。
	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善	b	ICTの利活用を重要なツールとしつつも「活用ありき」にはせず、これまで大切にしてきた実践を土台にした校内研修を推進し、授業改善を図る。	A5 B2	A6 B1	・「主体的・対話的で深い学び」の概念をより具体化しないと評価するのは大変な気がします。
(2)GIGAスクール構想による教育の質の向上	一人一台端末等ICT機器の積極的活用による「分かる授業」の推進	b	各教員の実践交流の機会を充実させることで、活用の幅を広げ、ICT機器の活用を促し、「分かる授業」の実現につなげていく。	A5 B2	A4 B3	・実践交流をいそう積極的に行うことにより各教員の指導力の向上を図ることが大切。
(3)すべての子どもの学力保障	基礎・基本の定着，児童理解に基づいた指導内容の精選と指導過程の工夫	b	支持的風土の醸成された学級経営や授業を土台に，教師と児童の信頼関係づくりを大切にされた指導の充実を図る。	A5 B2	A5 B2	・いじめのない学校づくりが大切。
	特別支援教育の充実と不登校対策	a	今後も特別支援教育コーディネーターを中心とした支援体制の充実を図り，配慮の必要な児童の支援を推進していく。	A6 B1	A6 B1	
(4)地域とともにある学校づくり	CSの推進と，保護者・地域との連携	b	「withコロナ」を想定したCSやPTA活動の在り方を模索しながら，本校ならではの特色ある活動を推進する。	A5 B2	A5 B2	・地域住民の実態を捉えながら，数年の見通しの中で計画を立て，実践する方向で。

■ 自己評価達成状況

a	ほぼ達成できた（8割以上）
b	概ね達成できた（6割以上）
c	十分ではない（4割以上）
d	達成できなかった（4割未満）

■ 自己評価の適切さ及び改善の方策の適切さにかかる評価

A	自己評価及び改善策は適切であり，取組を進めるべきである。
B	自己評価及び改善策は適切であるが，若干の修正は必要である。
C	自己評価及び改善策の方向性はよいが，若干の修正が必要である。
D	自己評価及び改善策を再度検討する必要がある。